

政策 5

K O S H I C I T Y

都市基盤の健幸

地域の特性を活かしながら、ゆとりある充実した市民生活が営めるよう、土地利用の推進と道路網の整備に努めます。

また、市民が利用しやすい公共交通網の整備をはじめとした生活基盤の充実を図ります。

施策 20

計画的な土地利用の推進

【業務分野】

○計画的な市街地の形成

現 状

秩序ある土地活用とコンパクトなまちづくり

人口増加等の影響で、本市の市街化区域の土地利用は飽和状態にあり、住宅・商業地の新規立地が難しい状況です。市街化調整区域においては、集落内開発制度や地区計画制度による開発により宅地化が進んでいます。

ゆとりある充実した市民生活を送れるよう、地域の特性に応じた秩序ある土地活用とコンパクトなまちづくりを目指した土地利用が求められています。

御代志駅周辺の開発の推進

御代志駅周辺について、居心地の良い、賑わいのあるまちづくりを行うため、当駅周辺の土地区画整理事業が進んでいます。

遊休農地の発生防止・解消

本市の市域の4割弱は農地であり、農地の荒廃化が進行すれば、その周辺にも悪影響を及ぼし、また、農地として復元するにも多額の費用が生じることとなります。

課 題

計画的かつ効率的な土地利用を推進するため、「都市計画マスタープラン」、「農業振興地域整備計画」に基づいた、地域の特性や社会動向、既設の道路・公園・上下水道等の都市施設及び小中学校・保育施設の整備状況等を総合的に判断した誘導方策が必要です。

また、市街化調整区域では、開発が厳しく制限されていることから、規制緩和について国や県との協議が求められています。

御代志駅周辺の賑わいづくりのため、商業施設等を整備し、また、周辺道路の渋滞対策にも取り組む必要があります。

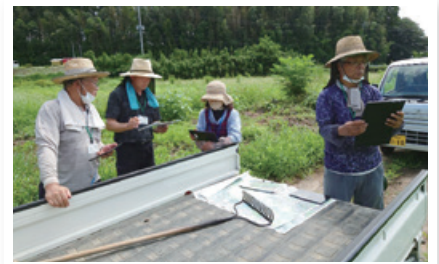
遊休農地を早期に発見し、荒廃化が進まない初期段階において解消に向けた取り組みを行う必要があります。



市北部に広がる農地



土地区画整理事業により整備された御代志駅



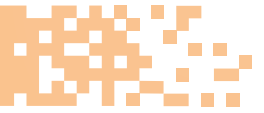
遊休農地パトロール

施策に関連する個別計画

計画名	開始年度	終了年度
合志市都市計画マスタープラン	R1	R10
熊本都市計画事業御代志土地区画整理事業計画書	H30	R14
合志市農業振興地域整備計画	H21	—

2027年
目指す姿

地域の特性に応じた土地利用による住みよいまち



対 策 ・ 取 組

- 令和7年度（2025年度）の市街化区域見直し（線引き見直し）に伴い、良好な都市環境の形成を図ります。
- 「都市計画マスタープラン」、「農業振興地域整備促進計画」等に基づき、適切な開発の誘導に取り組みます。また、民間事業者が行う開発で、公共性の高い施設整備等については、将来を見据えた支援を検討します。
- 南北の人口格差の是正を考慮した住みよいまちを築くよう、自然環境の調和を図りつつ、民間開発を誘導します。
- 市街化調整区域の規制緩和に向け、市街化調整区域活性化連絡協議会と連携し、国や県への要望を進めます。
- 国所有地の有効活用に向けた取り組みを検討します。

- 御代志駅周辺の本市所有の土地について、土地利用方法を検討し、市民や来訪者が利用しやすく賑わいのある商業施設や複合施設の開発・整備を図ります。
- 県等と連携し、御代志駅周辺の国道387号の渋滞緩和を目的とした道路改良工事を進めます。

- 市内すべての農地の利用状況を調査し、遊休農地の把握を行います。
- また、遊休農地の所有者・耕作者に、その農地を今後どのように利用するか等の意向調査を行い、解消に向けた取り組みを行います。

■ 施策の評価指標と目標値

指標名		R4(実績値)	R9(目標値)
市街化区域で有効に市街化がなされている土地の割合	%	86.9	87.0
市街化調整区域で開発(地区計画)を誘導した面積	ha	0	22
土地地区画整理事業の進捗率(仮換地指定率)	%	75.7	100
遊休農地面積	ha	14.5	0

施策 21

計画的な道路の整備

【業務分野】

- 計画的な道路の整備
- 道路環境の整備

現 状

「中九州横断道路」早期完成に向けた取り組み

大分県と熊本県を結び、本市北部を通る「中九州横断道路」（一般国道57号大津熊本道路）の整備に向けた取り組みを、国・県等と連携して進めています。本道路の整備により物流の効率化、観光周遊性の向上が見込まれ、また、自然災害等発生時の緊急輸送ルートとしての役割も期待されます。

安全で安心して通行可能な道路の整備

本市では、人口の増加や企業の増設・進出等により特定の時間帯（朝夕）における車両の通行量が増えています。

計画的な道路・橋梁の維持管理

道路は日々の生活を行う上で必要不可欠なインフラとして市域全体に張り巡らされており、市民生活や企業の活動に支障をきたすことのないよう、計画的な維持管理が必要です。

課 題

菊陽町へのTSMC進出に伴い、本市では関連企業の集積や人口の更なる増加が見込まれ、本道路の早期の整備が必要であり、国・県等関係機関との密な連携や整備予定地の地権者との調整等が必要です。

生活道路においては幅員が狭く、災害時の避難や緊急車両の通行に支障が生じている路線があることから、道路整備を計画的に進める必要があります。

道路や道路付属物は交通状況の変化や老朽化により劣化・損傷が進行することから、定期点検を実施し、必要な修繕を行い適正に維持管理をする必要があります。



中九州横断道路の一部「大津熊本道路」着工式



楓の森小中学校開校に伴う道路整備



建設中の上群中林線

施策に関連する計画等

計画名	開始年度	終了年度
合志市舗装維持管理計画	R3	R7

2027年
目指す姿

円滑に移動可能な道路ネットワークが形成されたまち

対 策 ・ 取 組

●国・県等と連携を図りながら、地権者への丁寧な説明を行い、理解と協力のもと計画的に用地取得を行います。

●新たな市道の道路改良や歩道整備を進め、安心して通行できる道路の整備を行います。
●広域幹線道路である国・県道の整備や機能強化が早期実現するよう引き続き要望を行い、国や県、近隣自治体と連携し、幹線道路ネットワークの機能強化に取り組みます。

●市民・自治会（区）からの要望や環境の変化等を踏まえ、計画的に道路や橋梁の維持管理を行います。

■ 施策の評価指標と目標値

指標名		R4(実績値)	R9(目標値)
舗装維持管理計画(5カ年)の進捗	%	14	40
管理瑕疵が起因となった事故	件	1	0

公共交通の充実

【業務分野】

○公共交通の利便性の向上

現 状

市民ニーズに添った公共交通網の構築

本市では、令和2年（2020年）3月に合志市地域公共交通再編実施計画を策定し、同年10月にコミュニティバスのルートやダイヤを見直し、レターバス3路線、乗合タクシー5路線で運行しています。高齢者等の交通弱者の増加や交通渋滞の深刻化により、公共交通に求められる役割が大きくなっています。

コミュニティ交通の利用促進

コミュニティ交通（レターバス、乗合タクシー）については、ルートやダイヤ見直しにより利便性の向上を図っていますが、コミュニティ交通の利用状況は横ばい状態にあります。

課 題

子どもから高齢者まで利用者のニーズとコストのバランスを考えるとともに、日常生活を支える持続可能な公共交通の構築が求められています。

また、交通渋滞の緩和や環境に配慮した公共交通網が求められています。

市ホームページ・広報紙等でコミュニティ交通に関する情報発信を行っていますが、市民へ広く浸透していません。また、自動車依存の傾向もあり、コミュニティ交通利用への行動変容にも繋がっていない状況です。



市民まつりでのバスの乗り方教室



コミュニティバス利用促進の取り組み



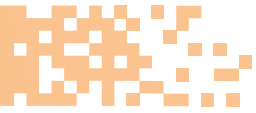
パークアンドライド（新須屋駅駐車場）

施策に関連する計画等

計画名	開始年度	終了年度
合志市地域公共交通計画	R6	R10

2027年
目指す姿

利便性の高い公共交通網が構築されたまち



対 策 ・ 取 組

 市民提案
 対策・取組のマークの説明
 市民等ワークショップの市民提案を反映させた取組み



●自動車から公共交通へのシフトを目指し、民間事業者とも連携し、効率的で利便性の高い地域公共交通網を構築するため、路線の見直しやダイヤの改正を行っていきます。

●環境に配慮した車両の導入とデジタル技術を活用したサービスの導入に向けた取組みを行います。



●市民に愛着を持たれるコミュニティ交通として認知度を向上させ、利用に繋げるため、市広報紙、パンフレット、SNS等によるプッシュ型の情報発信や、子どもや高齢者を対象とした乗り方教室を継続して行います。

■ 施策の評価指標と目標値

指標名		R4(実績値)	R9(目標値)
レターバス利用者数	人	74,405	88,800
乗合タクシー利用者数	人	3,351	4,000



土地区画整理事業の交差点改良



レターバス



新御代志駅